

箕輪工業高校学園ニュース (うえのばやむだより)

11月号



第41回 全道高 箕工祭

盛大に



去る十月二十二日(金)二十四日(日)箕輪工業高校文化祭「箕工祭」が盛大に行われた。三年生の学友会(生徒会)執行部が中心となり企画運営したが、例年通り全校生徒全員が主役となっていた。中でも目玉となっていたのは有志による企画。クラス全員によるダンスや、職員によるバンド演奏など数多くの企画で盛り上がった。



はりぼて「ポテトヘッド」



体育祭 「綱引き」



有志企画 1 - Cダンス「mickey」



修学旅行展 2 - D 「時計台」



工業技術の最先端を学ぶ

日本工業大学との高大連携事業の一環として、出張講義を行った。

講義は2部に分けて行い、第1部を本校生徒対象。第2部は地元の方を対象とした。

講師は同大学先端材料技術研究センターの竹内貞雄助教授（飯田市出身）。テーマは「ダイヤモンドの魅力（合成と応用の現状）」だった。

ダイヤモンドの特性や合成方法、応用例などのほか、実際に合成実験の様子を見ることができた。生徒からは「ダイヤモンドはどのくらいの高さまで合成できるのか」などの質問も出ていた。



講演をする竹内助教授



ダイヤモンド合成実験装置



クラブ紹介

～ 硬式テニス部 ～



今のテニス部は、昨年に比べると、とても成長した気がします。

その理由の一つに、コート環境整備をいただいたからだと思います。成績の方は今ひとつですが、来年の春の大会ではいい結果を出したいと思います。

今日って何の日？

11月26日は「ペンの日」です。

1935（昭和10）年のこの日、日本ペンクラブが創立されました。これを記念して制定されました。

同クラブは世界各国の文筆家の親善を通し、言論や報道の自由を擁護することを目的とした国際的な文学者の団体です。

コンピューターの普及した現代、久しぶりにペンをふるってみたいはいかがでしょうか。



学校長挨拶

初冠雪、初霜、初氷と足早に初冬の趣を呈してきた。休日には田畑に家族総出で秋野菜の収穫を忙しく行う風情は年の終わりの哀愁を感じさせる。

また、収穫を終えた田んぼから、以前は保存用に稲わらの組み上げが見られたが、最近は切り株が点在するだけである。

私達は元来農耕民族として生活してきた。その中心は稲作である。稲作はお米の収穫だけではなく、わらの収穫も大切であった。わらは、わら文化と言っても良いほど我々の生活の身近に使われていた。畳の芯、履き物、衣類、植物の暖房用等々その用途は広く、最後は肥料として使われ無駄なく利用されており、衣食住のあらゆる面で私達を支えてくれていた。ところが最近、田んぼの作業が機械化され、籾の収穫と共にわらは切り刻まれ、堆肥になることが多くなった。便利さだけに走るのではなく「わらの文化」に象徴される古き良きもの（伝統）も大切にしたいものである。



箕輪工業高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minoko/>

箕輪工業高校の情報が満載。是非、一度ご覧下さい。

本校に対するご意見・ご要望は minoko@nagano-c.ed.jp または 0265-79-2140（代表）
教頭松崎までお願いいたします。

